

第1章 公共施設の再配置について

1. 1 公共施設再配置計画とは

(1) 背景と目的

本市の公共施設は、老朽化が進んでおり、今後多くの公共施設が建築後の耐用年数を迎える中、建替えや改修等に多額の費用が見込まれる一方、少子高齢化に伴う人口減少など社会情勢の変化により財政状況は一層厳しさを増していくことが予測されます。

このような状況を踏まえて、本市では、安定かつ適切な行政サービスの継続を目指し、平成23年4月から公有財産の利活用に関する検討を進め、公共施設等の現状把握、更新（建替え）や改修費用などの将来予測、人口減少率などを総合的に検討し、公共施設等に関する基本となる考え方「南丹市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という）を平成29年度に策定しました。

この総合管理計画に基づき、本市公共施設マネジメントの推進体制を構築するとともに、**次世代の負担軽減を図り、持続可能なまちづくりに向け**、適切な公共サービスの確保を着実に推進していくことを目的としています。

(2) 計画の位置付け

本計画は、総合管理計画を受け、本市が所有する公共施設の保有量の適正化を推進する方針を示す計画と位置付けます。

本計画策定後は、個別施設の集約・複合化などによる再編を本計画に基づき進め、維持していくとなった個別施設の維持管理等に関する長期保全計画を策定していきます。なお、既に施設の整備や維持管理等の考え方を示している個別計画、長寿命化計画については、整合を図ります。

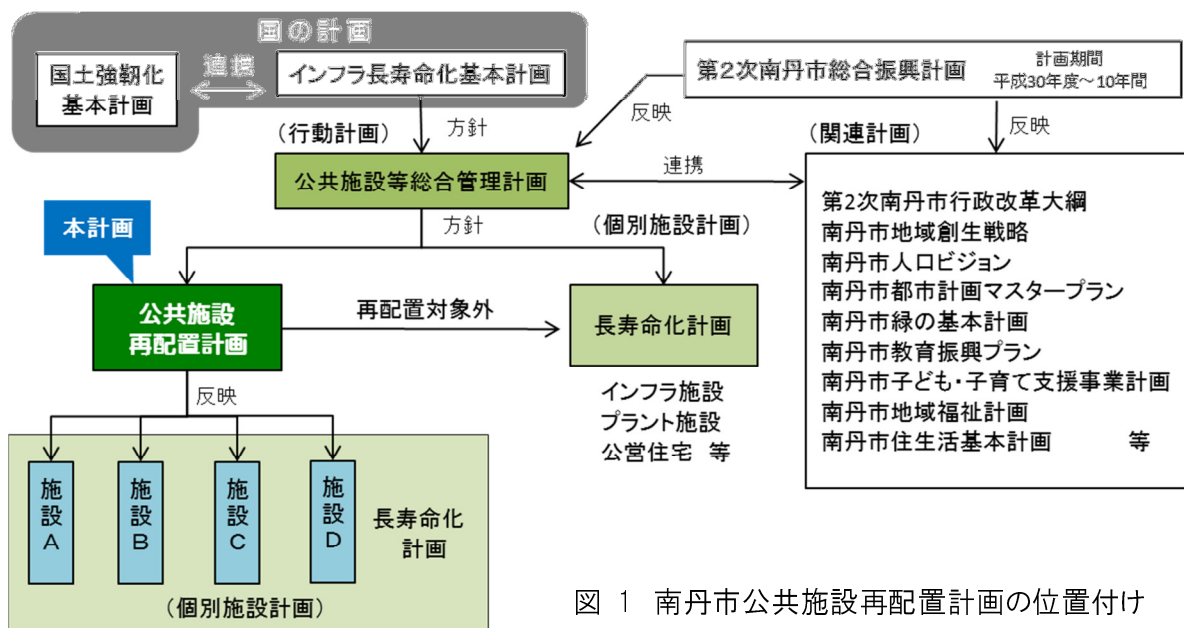


図1 南丹市公共施設再配置計画の位置付け